

三浦綾子  
読書会

第13回 あや講座

# 綾子を回心に導いた前川正の信仰と短歌

日程 2025年8月9日（土）

時間 13:30～15:30

場所 YouTubeライブ & 会場（青谷福音ルーテル教会 会堂）



お話 大田正紀さん



大田正紀さんは、三浦綾子作品を文芸研究の対象とした最初の研究者ともいえる故水谷昭夫教授との出会いによって人生の方向が変えられました。やさしく紳士的な大田さんですが、学生時代には水谷師に叱られながら、ボクシングを続けていました。その情熱をもって多くの学生たちに向き合い、研究と執筆を重ねてきた大田さんの魂を震わせたひとりが、前川正でした。

格闘家廻り道しつこの途あゆめり 生命に刻まれし愛伝へむとす  
（優子）

## 会場場所

〒651-0052 兵庫県神戸市中央区中島通2-3-6  
（市バス2系統「青谷」下車すぐ/JR神戸線灘駅または阪急神戸線王子公園駅から上り坂約20分）



主催 / 三浦綾子読書会 育成研究委員会

10年前、梅花女子大学の定年退職と前後して体調を崩し……しかし、妻きみ子は希望を失わず、「まだ左目が見える。これを大事にしよう」「右の耳は聞こえるでしょう」とはげますのです。

『日本近代文学と聖書』 あとがきより

## 大田正紀さん

1949年三重県紀北町に生まれる。三重県立松阪商業高等学校を2年1学期で中退。兵庫県立神戸高等学校に1年2学期に編入学し、卒業。1970年関西学院大学文学部に入学。実方清教授の指導を受ける。卒業後、2年間（株）カワムラサイクル本社営業部に属し、東海地方で勤務。1976年関西学院大学大学院文学研究科日本文学専攻に入学し、水谷昭夫教授の指導を受ける。1980年同大学院後期博士課程を中退し、聖和大学助手に。1986年助教授。1987年梅花短期大学国語科設立のため転学し助教授に。1998年教授、2004年梅花女子大学文化表現学部日本文化創造学科教授。

2013年同大学を定年退職。梅花女子大学名誉教授。

専攻テーマは、「近現代日本文学とキリスト教」。日本キリスト改革派灘教会引退長老。

### 主な著書

『近代日本文芸試論——透谷・藤村・漱石・武郎』（桜楓社 1989年）

『祈りとしての文芸 三浦綾子・遠藤周作・山本周五郎・有島武郎』

（日本キリスト改革派西部中会 2006年）

『日本のキリスト教芸術3 文学』（「近現代短歌」日本キリスト教団出版局 2006年）

『日本近代文学と聖書』（一麦出版社 2023年）

### 【お問い合わせ / お申し込み】

講座前日までに、お名前と会場かオンラインどちらで参加されるかを明記して、下記にメールでお申し込みください。見逃し配信だけのお申し込みも可能です。

中村真紀 [nakamaki132@gmail.com](mailto:nakamaki132@gmail.com)

2日経っても返信が無い場合は、お手数をおかけいたしますが、遠藤優子 ([yuyurhoda415270@gmail.com](mailto:yuyurhoda415270@gmail.com)) までお問い合わせください。

受講費は事後に金額自由の献金(募金)でお願いしております。

見逃し配信を申し込まれた方も同じです。講座終了後から8月22日(金)までにお振込みください。